

# つなぐ

Vol.145

2021  
Autumn

令和3年10月1日

発行人 長野県民生委員児童委員  
協議会連合会  
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会  
委員長 月岡 幽美子

〒380-0936  
長野市大字中御所字岡田98番地1  
(長野県社会福祉協議会内)

## 特集1 訪問 松本児童園

「児童養護施設の現状と民生児童委員のかかわり」

## 特集2 訪問 訪問だよりの事例

「コロナ禍で訪問だよりの効果は？」

## Contents

- ◆ 特集1 訪問 松本児童園  
児童養護施設の現状と民生児童委員のかかわり … 2~3
- ◆ 特集2 訪問 訪問だよりの事例  
コロナ禍で訪問だよりの効果は? … 4~5
- ◆ 民児協訪問  
天龍村民生児童委員協議会 … 6  
長野市信更地区民生児童委員協議会 … 7
- ◆ 長野県民生委員児童委員協議会連合会  
ホームページをリニューアル! … 8





## 松本児童園

### 児童養護施設 松本児童園

運営：社会福祉法人松本市児童養護協会  
松本市島内1666-880 TEL0263-47-0590

### 地域小規模児童養護施設 ぽぷらの木

運営：社会福祉法人松本市児童養護協会  
松本市島内4201-17 TEL0263-50-7824

## 児童養護施設の現状と民生児童委員のかかわり

児童養護施設には、全国で約2万7千人が生活しています。また長野県内で約500人の児童が14施設に入所しています。厚生労働省の平成30年の調査によると、虐待を経験した児童が全体の65%をしめ、母親の放任・怠だ・精神疾患や経済的な問題などが理由となっています。

松本児童園は、松本市民生児童委員協議会が核となり運営しています。記者は本誌つなぐの広報委員で松本児童園の評議員でもある赤羽さんと園長一柳明美さんを園に訪ね案内いただきました。



▲松本児童園園長 一柳明美さん

昭和25年、終戦の5年後に中信地域で民生児童委員も加わり、中信養護協会が戦災孤児救済のための児童養護施設を設立しました。その後、対象児童の多くが松本市域だったために、昭和34年3月に松本市の民児協が経営を引き継ぎました。翌年には児童養護協会設立の認可が降りて、昭和38年に現在の松本市島内に移転し現在に至ります。松本市の民児協会長が理事長をつと

### 昭和34年から松本市民生児童委員協議会が運営



▲松本児童園入り口

め、理事や評議員も民生児童委員が担っています。

平成7年からは、松本市の民生児童委員約500人が、3年に一回の任期で、1人1万円を寄付。「養護基金」として積み立てられています。養護基金の大半は、約10年後に予定している施設の全面改築の費用として、また一部は、子どもたちの生活向上のためのレクリエーション費用に活用されています。「今年の夏休みの帰省はコロナ禍で中止になり、園の中で生活しなければならぬので、映画鑑賞などを企画し、1日楽しく過ごせるようにしました」と一柳園長。通常の年なら、新潟の海に行くなど、日常では体験できない企画を行っていると言います。

「近年、児童養護施設は、多機能・高機能化が求められています。地域で相談できる児童家庭支援センターも将来的に必要と感じている」と話します。

「コロナ禍以前は、主任児童委員がボランティアで週末に子どもたちの世話をしていました。しかし、乳児から幼児は里親のもとで養育されることが多くなり、中高生が主に施設で生活していることもあって、今年から主任児童委員には、雑巾を作ってもらったりしているとのこと。また、芳川地区の民生児童委員30人が年に4回草取りや植木の手入れ、外回りの環境整備をしているそうです。」

### 子どもたちの入所理由は虐待が半数

8月1日現在で、本体の松本児童園に



▲小規模グループケアホームには専用玄関が



▲児童園の中、少人数で暮らす小規模グループケアホーム

25人と、地区内の「地域小規模児童養護施設 ぽぷらの木」に6人が入所しています。子どもたちは2歳から18歳までが対象で、児童相談所から措置されてきます。入所理由は、虐待が半分とのこと。ネグレクト(育児放棄)、心理的・身体的虐待などです。

設立初期の頃は、経済的な面で育てられず預けられる子どもが大多数でした。しかし、「最近は心理的虐待が目





▲「ぼぶらの木」では家庭的な雰囲気が漂う



▲「ぼぶらの木」の玄関に6人の子たちの靴が並ぶ



▲地域小規模児童養護施設「ぼぶらの木」外観

## 家庭的な環境で子どもたちを養育する体制作り

施設では、より家庭的に子どもたちを養育することを目指しています。集団生活をするよりも里親さんの元で育ててもらったり、短期間ホストファミリーの元で過ごすことを推進しています。「生まれ育った家庭で子どもが育つことが第一」と園長は強調します。関係者はまず、それを実現できるように努力します。もし難しければ、例えば里親など家庭的な環境を用意。それも厳しい場合は、施設での生活が基本となります。しかし、施設自体も家庭的環境を整えることが必要とされているのです。

松本児童園では、平成17年という早

立つ。また保護者の精神病などが原因のことも多い。そして、児童にも特性がある場合も増えた。例えば発達障害や愛着障害など。家庭にいたときに、周りが気づけなかった子どもも入所しています」と一柳園長は説明します。そうした子どもたちには、児童精神科へ定期通院するなど、園で生活をしながら、適切な治療や支援も続けています。

期から小規模グループケアホームを開設。その後、敷地内に同施設を2区画開設してきました。今年4月には地域小規模児童養護施設「ぼぶらの木」を地区内の別の場所に一戸建ての家として開設し、運用を始めています。中学生以上の子どもたちは個室で過ごすことができ、地元の保育園や学校へ通っています。グループケアホームでは6人以内で生活し、キッチンがついていて、担当職員が作るのを見たり体験したりできます。お風呂も玄関も、少人数で使うことができます。職員は互いにカバーしながら24時間ケアしています。

「民生児童委員の皆さんには、子どもたちの現状をぜひ知ってほしい」と赤羽広報委員は話します。「相談されたり、発見したりした場合はぜひ早期発見と解決にご協力を」とのこと。

また、ホストファミリーも募集しています。週末など数日程度受け入れ、家庭生活を体験させます。松本児童園では、松本市内だけでなく近隣の市町村の児童も受け入れています。現在、定員5人の一時保護施設の準備を進め年内開所を目指しています。園では市内外から寄付を募っています。

### ◆県内児童養護施設（子どものホストファミリー申し込みも下記へ）

名称	住所	電話番号
軽井沢学園	〒389-0115 北佐久郡軽井沢町追分1341	0267-45-1295
森の家はらとうげ	〒386-0033 上田市大字御所38	0268-22-1195
つつじが丘学園	〒394-0048 岡谷市川岸上4-12-51	0266-22-2574
たかすやの里	〒399-4432 伊那市東春近7000-8	0265-72-6456
おさひめ チャイルドキャンプ	〒395-0021 飯田市仲ノ町305-6	0265-22-3875
風越寮	〒395-0077 飯田市丸山町4-7537-10	0265-22-1489
慈恵園	〒399-3202 下伊那郡豊丘村大字神稲4461-1	0265-35-4815
木曾ねざめ学園	〒399-5608 木曾郡上松町大字荻原字立町1255	0264-52-2313
松本児童園	〒390-0851 松本市大字島内1666-880	0263-47-0590
円福寺愛育園	〒388-8005 長野市篠ノ井横田798-1	026-292-5022
恵愛	〒387-0021 千曲市稲荷山3842-1	026-214-1315
松代福祉寮	〒381-1221 長野市松代町東条108-2	026-278-2556
三帰寮	〒381-0021 長野市大字屋島2373	026-244-8355
飯山学園	〒389-2253 飯山市大字飯山3180	0269-62-2339



訪問だよりの事例

岡谷地区「訪問だより」制作者

林由美子 さん

(岡谷地区会長・岡谷市副会長)



▲昨年秋の訪問だより、紅葉が鮮やか

コロナ禍で訪問だよりの効果は？

昨年から今年にかけ、コロナ禍で、なかなか思うように見守りのための訪問ができなくなっています。岡谷市では、岡谷地区の「訪問だより」の発行と配布が話題となり、少しずつ制作の輪が広がっています。見守る対象者全員にしっかりと情報を伝える意味でも、民児協の便りの効果が出ているとのこと。その制作者である林由美子さんと、便りに注目し他地区にも広める岡谷市の小口瀧明会長を訪ねました。同市主任児童委員で本誌つなぐの林みな広報委員が同行しました。



▲左が岡谷市会長小口さん、右が制作者林さん

写真は全てオリジナルです。当初はデジカメでしたが、今は日頃携帯しているスマートフォンで、身近な

健康や季節の話題を  
早めに提供

「最初は技術もなく戸惑いましたが、好きな写真を載せて自分のパソコンで作りました」と話し始めました。試行錯誤の結果、今の形に。その後、28年には林さん自身が岡谷地区の会長になりました。実は30年ごろ訪問だよりの制作を引き継ぐ委員がいなく、中止にしようという話もありました。しかし「待っている人がいるし、我々もたよりがあると訪問しやすい」と委員から継続の希望が多くあり、これままで継続してきました。「1人が担当したからこそ、グレードアップ感が出てきて評判に」と同行した広報委員は説明します。なんとかこれまで継続してきました。

不在のカードの代わりに  
平成26年にスタート

きっかけは、岡谷地区の塩原前会長が、会長会の研修で、留守宅へのカード(あいさつ)を入れるだけではさびしいから、便りを作りたいと考えたとあります。そして林由美子さんに依頼がありました。平成26年2月には地区で担当となり制作をスタート。

「最初は技術もなく戸惑いましたが、好きな写真を載せて自分のパソコンで作りました」と話し始めました。試行錯誤の結果、今の形に。その後、28年には林さん自身が岡谷地区の会長になりました。実は30年ごろ訪問だよりの制作を引き継ぐ委員がいなく、中止にしようという話もありました。しかし「待っている人がいるし、我々もたよりがあると訪問しやすい」と委員から継続の希望が多くあり、これままで継続してきました。「1人が担当したからこそ、グレードアップ感が出てきて評判に」と同行した広報委員は説明します。なんとかこれまで継続してきました。

花の写真や、景色の写真を撮影。健康管理について、また特殊詐欺など高齢者が必要な話題を掲載。「区の見学より少し早めに情報を載せています。新型コロナ対策や、熱中症対策、この夏は東京五輪の話題など時世にも触れ、人に語りかけ、問いかける文章。「語り口調の文章がいい」と広報委員。上から目線にならないことや、政治色を出さないよう文章に気をつけています。

紙面には、ふんだんに季節の花を載せています。読んだ方から「花ことばも載せてほしい」という希望がありました。「訪問だより書いている人ですか？」と家を訪ねてきてくださり、花ことば集を持参し掲載してほしいと言われました。林さんは「しっかりと見てくださっていると感激しました。また「秋という字の入る花があったら教えてほしい」と紙面と呼び掛けたら、秋が始まる花の収録集を届けてくれた方が2人いました。いつの間にか双方方向のコミュニティセッションツールになっていました。「やめないうで続けてほしい。楽しみに読んでいるから」と言われ今では、嬉しい悲鳴です。

民生児童委員 訪問だより 8月 令和3年

東京オリンピックが始まりました。金メダリストが「大変な中、オリンピックを開催していただき有難うございます。」とインタビューに答えていたのを見て、感銘しました。予想以上のメダルを取ることが出来て、オリンピック反対の風が弱まったのでしょうか。8日まで試合は続きます。テレビの前で応援しましょう。それにしても・・・新型コロナウイルス感染は・・・第5波の到来と言われ、31日に新規感染者は全国で1万2800人を越えています。長野県も41人もの感染者の報告があり、東京都では4058人でただただビックリ。そしてガッカリですね。若い人に多く発症していますので、ワクチンの効果が若年層に普及するまで待つしかないのでしょうか。

熱中症の予防

- \* 水分補給を！ スポーツドリンクが望ましい。牛乳を飲むとタンパク質が摂れ、血液量が増し体温調節機能の改善につながる。
- \* 気温の低い時間帯に 15分程度の運動をすると体温調節機能が高まる。
- \* 湿度が高いと熱中症になりやすいので、扇風機や換気で空気を動かす。

花魁草:オイランソウ ヤブカンボウ ハラダゾクキョウ 半夏生:ハンゲシロウ

岡谷市民生児童委員 地区担当書 ( )

困ったことがありましたら、遠慮なく声を掛けて下さい

▲令和3年の訪問だよりには活動途中で出会ったカモシカが!



## 岡谷地区から、岡谷市全体へと広がり始める

コロナウイルス感染で、なかなか見守りができない環境となってきました。そして令和2年5月。市の全体会で紹介すると「これはいいから全体に広めよう！」と決まりました。

岡谷市会長の小口さんは、「初めて見た時、季節感を書くことはなかなか素晴らしい。感性が強く打ち出されている。見た人はモチーフが花で、暖かさを感じる。大事にとっておきたい。そんな思いに共感する人が広がると感じ、自分の地区の委員に相談したら『私もやってみよう』という話になった」と言います。そのまま、地区名や担当者を入れて使いたいという地区と、参考にしてオリジナルな作りをしたいという地区が出てきました。昨年の初めあたりからそうした動きが広がっています。昨年は、そのままコピーして使えるように、会長会でも配りました。紙面の下欄を改良、岡谷地区を岡谷市へ変更しました。

## 身近な地域の花の写真と健康のアドバイス

制作時間をたずねると「慣れると、2、3時間ぐらい」と林さん。スマホで日常の風景を撮影していると、委員活動の途中で、日本力モシカを目撃して撮ったこともあるとのこと。「スマホの写真は綺麗で、十分」と言

### 岡谷市岡谷地区「訪問だより」はこうやって作りました

健康や季節の話題、気を付けてほしい話題などを載せています。

かわいいワンポイントを入れてます。

その時々で出会った風景や花などの写真を入れました。(スマートフォン程度でOK)

写真には簡単な説明も付けました。

花ことばを添えました。



紙面下欄には「岡谷市民生児童委員」と表記し、さらに担当委員の氏名や電話番号を記入できるようにしました。

### この「訪問だより」データがダウンロードできます！

岡谷市民児協のご厚意により、この「訪問だより」データが長野県民生委員児童委員協議会連合会ホームページからダウンロードできるようになりました（Word形式）。過去分データも掲載しており、このデータを流用して、オリジナルの訪問だよりが作成できます。ぜひ皆様も気軽に挑戦してみませんか！

アドレスは

<http://www.nsyakyo.or.jp/minjiren/>

又は

「長野県民生委員児童委員協議会連合会」

で検索してください



います。コロナ禍でステイホームを強いられ、お家にいる高齢者の立場に立って作っています。「この花や景色を見せてあげたいな」と心がけます。また、高齢者は女性も多いため、花が好きな人や、花の名前や花言葉を覚えたい人も。特徴として、可愛い絵文字なども入れて、楽しいレイアウトに仕上げられています。

知識や個性で自由に作れば素敵」とコメントします。小口会長は「見守り活動の中で、こういう広報は高齢者を励まし、勇気を与える」とその効果を強調します。

### コロナ禍で有効な手段。地域色を出し作ってほしい

経費については、制作が軌道に乗ってからは、地区民児協の予算で1、000円/月、年間、12、000円の実費制作。区の「公会所」（公民館）で事情を汲んでいただき、安価でカラー印刷してもらっているそ

うです。地区によって、できる範囲で経費を確保して、行政や地区、社協などと連携してみるのも一つの手でしょう。印刷に関しては大量の場合、地元印刷会社やインターネットプリント活用も可能です。

「地域色や委員会を出して、どんな作っていただければ」と小口会長。「コミュニケーションの取り方で、どなたにでも受け入れられるアイテムとして有効。高齢化の社会で、より役割・効果を発揮できる訪問できない中でも活躍するはず」と広報委員。最後に、林さんは「私も自身も素人が作ったもので自信はありません。ぜひ挑戦してみたら」と話してくれました。

訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協  
だより



天龍村民生児童委員協議会



▲定例会の様子

天龍村は、県の南端に位置し、南側は愛知・静岡に接しています。気候は暖かくお茶の産地です。面積の9割が山林で、真ん中を南北に流れる天竜川と、支流が造るV字渓谷の中に集落が点在しています。

村役場のすぐ裏が天竜川。絶景とせせらぎを背景に定例会が進みます。民生児童委員は11人。会長の金田（かなだ）隆さんは6期目。会場に入ると、委員同士冗談を言い合うなど、委員同士としたムードが漂います。

丁寧な情報共有。ユーモアを大切に、みんなで高齢者を見守る雰囲気づくりを担う。

人口は6月30日現在で、1187人、高齢化率61.8%。667世帯です。小学生は全校で19人、中学生が15人と、人口減少と少子化が課題です。「私が子どもの頃は小学校の生徒が600人いた」と金田さんは目を細めます。定例会ではコロナ禍でも久しぶりに小学校の音楽会に出席した感想が述べられ、委員一人一人が子どもたちの成長を気にしています。

定例会では、委員全員が自分の活動メモを見ながら、活動報告と共に率直に思ったことや心配事を発表し共有します。

例えば、ある委員が「高齢者が外に座っていて心配だった」と話すと、別の委員がその後、「みんなに声をかけられてちゃんとお家に入ったよ」と報告。「熱中症にならないように消防署のパンフレットを渡して歩いた」と機転の効いた活動も。また「高森町を訪問して、熱中小学校と言っている企画がある」との紹介もありました。

子ども食堂の必要性についても、委員からみんなに投げかけがありました。「子どもという

より、天龍ではお年寄りの惣菜を安価で提供できる仕組みも必要」との意見が出ていました。

そして社会福祉協議会が走る福祉バスのルート変更についても、村民の声を担当者に届け、検討してもらうなど、具申もしています。「活動を通して、気がついたことは、行政に積極的に意見をしている」と会長。顔の見える関係が、課題解決に速やかにつながる場としても、定例会は機能しています。

「ユーモアをもつことを大切に。自分の感覚を信じてつなぐこと。地域みんなでお年寄りや子どもを見守る雰囲気を作るのが私たちの役目」と金田さんは最後に話してくれました。



▲全体写真は村役場の前で（前列真ん中が金田会長）



## 長野市信更地区民生児童委員協議会



▲中山間地域民生児童委員協議会交流研修会(信更、芋井、七二会、浅川、小田切、信州新町、中条、松代、若穂、篠ノ井信里、鬼無里、大岡、戸隠地区合同)

中山間地で顔の見える見守りと、スコップ三味線で地域を明るく照らす。

信更(しんご)地区は長野市の西南に位置し、標高400mから800mの農村地帯。8月1日現在で、世帯数495、人口1,129人です。高齢化率が5月1日現在で54.7%。北アルプスを望む美しい田園風景と、市街地に車で15分程です。

取材した日は地区内で、中山間地域民生児童委員協議会交流研修会を2年ぶりに開催。13地区から約40人が集まり、この地区が当番

制で幹事役をとめました。町誌編纂から、地区の歴史を紐解き、「嫁池」について説明。元信田村長が方面委員(民生児童委員の前身)だった事実も説明しました。「委員も高齢化している。勤めている人が多くなつた」と話すのは、地元出身で会長の倉島信子さんです。民生児童委員は16人で内主任児童委員が2人。「信更地区は皆が顔見知りで知らない人がいない」と倉島さん。コロナ禍での対策はもちろん「自分の感覚を大事に、見守っている」と言い、人間関係を軸に個別の丁寧な見守りを心がけています。

地域の課題を聞くと、「社会環境が変化し、市街地の塾などへ送迎が必要。少子化で保育園もなくなり、移住しても子どもものいる若い夫婦が少しずつ、町部へと離れていってしまつ」と懸念しています。また、今年は「コロナウイルスの予防接種の声かけをするなどしてきて、終了しほつとしてい」とのこと。大規模な会場での接種が基本で予約電話がなかなかつながらず、足の確保も大変でした。「地域の診療所で受けられたらよかったの」と漏らします。

定例会は月1回、事務局、市の福祉政策課、包括支援センター、福祉ワーカーやコーディネーターらに参加。また委員同士の近況報告や情報提供と、活動の相談など2時間程度です。

最後に、「スコップ三味線を知っていますか」と倉島さん。平成28年に研修で青森に行き、演奏を知って感動。現役の女性委員やOBがスコップ三味線「虹の会」を立ち上げました。コロナ禍以前は、お茶飲みサロン、地域のイベントに加え、他の地域の施設訪問での演奏も。練習を重ね、年間3、4回程度活動しています。



▲信更地区の民生児童委員の皆さん(倉島会長は前列真ん中)



### 表紙写真紹介

岡谷市  
出早神社

撮影

民生児童委員3期目  
岡谷市民児協副会長 岡谷区民児協  
はやし ゆみこ  
林 由美子 さん

profile

「訪問だより」を作成する際に、掲載出来そうな草花や風景を探しながら地区を回っています。






### 表紙写真募集!!

- 表紙を作品発表の場、地域の紹介の場と考えられています。日ごろ写真を趣味にしている方、民生児童委員の方々の地域の風景やお祭りなどの風物詩を撮った写真を募集します。
- デジカメで撮った作品の電子データをCDRIに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。
- 詳細は県事務局(026-225-1613)まで。

# ホームページをリニューアル！

長野県民生委員児童委員協議会連合会ではホームページをリニューアルしました。皆様の活動に活かせる情報や資料を掲載しますので、「つなぐ」と併せてぜひご覧ください。

-  **広報** 民生委員児童委員だより「つなぐ」が読めます
-  **民生委員児童委員の学び**に活かせる研修用教材をご紹介します
-  **県内民生委員児童委員の皆様へのお知らせ**が閲覧できます



その他、民生委員児童委員の意義や役割、各市町村事務局連絡先なども掲載しています

## 閲覧するには

- 1** インターネットの検索サイト（Google、Yahoo、MSN等）で「長野県民生委員児童委員協議会連合会」と入力（右図はGoogleの場合の画面）
- 2** 検索結果が表示されるので、その中から「長野県民生委員児童委員協議会連合会」にマウスを合わせ、ダブルクリックすると開きます。



スマートフォン、タブレット端末をお持ちの方は、右QRコードを読み込むだけで簡単に閲覧可！

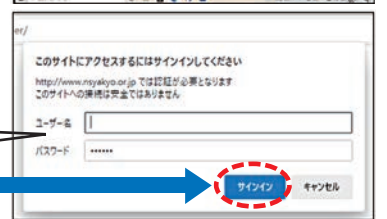


## 「会員用ページ」は以下の方法で閲覧できます。

- ①** 右図の「会員用ページ」をダブルクリックする
- ②** 「このサイトにアクセスするにはサインインしてください」と表示されますので、「ユーザー名」欄には何も入力せず、「パスワード」欄には半角で「nminji」と入力し、「サインインボタン」をクリックすると開きます。



ユーザー名欄には何も入力しない  
パスワード欄には **nminji** と入力



委員活動も一年と十カ月になり振り返ってみると、コロナ対応の一語につきます。通常に活動していた時には大変な任務であると感じていましたが、訪問活動の自粛や行事の中止などで動く活動がなくなった反面、新任委員さんにとっては精神的負担が起きています。最近保育園などでRSウイルスも発生しているようです。

自然界では予期せぬ天災や疫病が発生しますが、自然界は全て一瞬たりともとどまることなく、移り変わるものであり、止めることは出来ません。また事前に完全防止することもできません。

直面して最善の対応をする事しかありません。自らの安全を最優先して、やれる範囲で努力して活動すればよいと思います。今回訪問自粛で面会は出来ない中でも訪問便りを訪問先のポストへ届けることで多少でも意思疎通ができるのではと、実践している地区の事例を掲載しました。

（委員 山口三千夫）



広報委員  
リレー日記